

かえで通信

第23号

発行人
大竹大輔を育てる会
伏見 幸久



ご挨拶

吐く息が白くなり冬本番となって参りました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？私は先日、インフルエンザの予防接種を受けて参りました。予防接種を受けてもインフルエンザにかかるときもありますが、何事も事前の準備が大切ですね。予防接種はお早目に！

さて、今年も残り僅かとなりました。皆さま、どんな一年でしたでしょうか？私は年頭に今年の指針となる一文字漢字を、「どのようなことも平常心で取り組む！」という思いで「常」と決めましたが、ちゃんと取り組めたかどうか一年を総括しているところです。「平常心」は大切です。来年も新たな指針を決めますが「平常心」は常に念頭に置きたいと思います。そして、来年も「いつまでも住み続けたいまち、かかみがはら！」に向け精進して参ります。

最後に皆さまの年末年始が健やかであり、新しい年がより素晴らしい一年になることをご祈念申し上げます。

本年も大変お世話になりました！



各務原市議会議員 大竹 大輔

市政を問う！6月議会では次の一般質問をしました！

各務原市の鳥獣被害対策はどうなってますか？



本市の鳥獣被害の現状と推移はどうなってますか？

被害が多い地域は、イノシシは各務・鵜沼地区、アライグマは各務・蘇原地区、ヌートリアは稲羽・那加地区、カラスは鵜沼・那加地区となっている。平成29年度の農作物の被害額は、イノシシが49アールで56万5千円、アライグマが155.5アールで2万4千円、ヌートリアが29.7アールで33万円、カラスが1,316.8アールで109万6千円である。また、捕獲数は、イノシシは41頭、アライグマは38頭、ヌートリアは2頭、カラスは157羽である。

鳥獣被害に対し今現在どのような対策をとっているのか？また、処理状況と課題は？

イノシシの対策としては、鳥獣被害防止対策協議会が事業主体となり、被害が大きかった各務東町の水田に侵入防止柵を設置し、稲への被害防止に努めているほか、現在、市内に20基の捕獲檻を設置している。また、特定外来生物のアライグマやヌートリアについては、捕獲檻を市民に無料で貸し出し被害防止に努めている。また、捕獲されたイノシシについては、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、猟友会の駆除隊員がその場で殺処分し埋却している。

担当部署に専門窓口の設置の考えは？

職員の知識・技術向上のため、県や岐阜大学が開催する対策手段や捕獲技術等についての講座に担当職員が積極的に参加しており、今現在は、専門の窓口の設置を考えていない。しかしながら、今後も職員の知識・技術の向上を図っていく計画である。

松が丘、緑苑、鵜沼山崎町など住宅地域においてもイノシシが出没し、被害が発生しています。具体的な対応策を行政、地域の皆さまと共に考え取り組んで参ります。